



ふくえい

市川市立福栄小学校だより

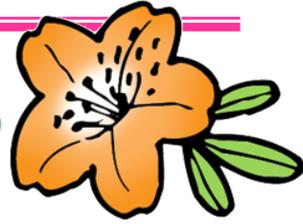
令和3年5月19日発行 NO.4



—「あい」がいっぱい福栄小—

<https://ichikawa-school.ed.jp/fukuei-sho/>

朝会での話—うれしかったこと—



体育発表会も近くなり、各学年の演技も少しずつ形になってきました。今週は、梅雨の走りでありあまり天気が良くないと聞き、「当日は曇りでいいからできますように。」と、祈るような気持ちでいます。

さて、今月の朝会でこんな話をしました。

まず、校長先生がとってもうれしく思ったことを、みなさんにお話します。

私は、朝、東門の横断歩道のところで、黄色い旗を持ってみなさんと「おはようございます！」とあいさつをしています。東門の方の道には、結構たくさん車が走っていて、中にはスピードを出している車もいて、危ないなあと腹立たしく思うこともあります。でも、何台かの車は、福栄小のみなさんが横断歩道のところで待っているのを見て止まってくれます。そんな時、私は、みなさんに「待っていてくれる車の人に、ありがとうとお辞儀をするといいよ。」と声をかけていました。そうしている間に、自分から運転手の人を見て、お辞儀をして横断歩道を渡って行く子が出てきました。

ある朝、「いちばん星」とドアのところに書いてある車が止まってくれました。みんな、運転手さんを見てぺこっとあいさつをして横断歩道を渡っていきました。その後、そのいちばん星の車が少し前に出て、私の前に止まったのです。「何か注意されるのかな？」と思ってしまいましたが違いました。運転手さんは、「横断歩道を渡る子どもたちが、お辞儀をしてくれるんですよ。」とうれしそうに話してくれたのです。運転手さんのうれしそうな声を今でも覚えています。そして、私もとってもうれしくなりました。

それから、毎朝通るいちばん星の車は、横断歩道で待っている福栄小学校の子どもたちを見ると、止まって待っていてくれます。そして、少し前に出て、私の前に止まり、運転席から「おはようございます！」と大きな声であいさつをしてくれるのです。きっと、あの運転手さんは、福栄小の近くの横断歩道を通って、みなさんがありがとうのお辞儀をしてくれるのを見て、幸せな気持ちになってくれていると思います。そして、校長先生も、運転手さんと「おはようございます。」とあいさつをするたびに明るい気持ちになります。これは、みなさんのあいさつのおかげだと思っています。どうもありがとうございます。

あいさつはなぜしなければならないのか？あいさつをすると本当にいいことがたくさんあります。大人になって、あいさつができるから損をしちゃった・・・という人は、まず、いません。でも、いろいろ考えないで、とにかくあいさつを続けてみるといいと思います。まず、やってみること。それが大切だと思います。本当は、なにかやるときに「いいことがあるからやる。」ということばかりではないと思います。自分でやってみて、自分でいろいろなことを経験してみなければわからないこともあるのです。実際に、私は、みなさんのあいさつで、こんなとてもうれしい出来事がありました。みなさんも、ぜひあいさつをしてください。

その日から、横断歩道のところにいると「もう、いちばん星の車通った？」と聞いてくる子が何人もいます。車が止まってくると、運転手さんを見てお辞儀をして道を渡る子が増えました。話を聞いてくれたんだなあ、ちゃんと挨拶してくれているなあ・・・とうれしくなります。素直な福栄小学校の子どもたちは素晴らしいです。



今年の梅雨入りは早いらしく、今週中にも梅雨に入る予想が出ています。「まだ、5月なのに!」とびっくりしています。

心配なのは、今週の土曜日に予定されている体育発表会です。以前にも文書でお知らせしているように、土曜日に実施不可能な場合は、火曜日に延期とします。この予定は悪天候での延期だけでなく、コロナの感染が確認され、濃厚接触者の特定が必要になった場合にも適用されます。火曜日にも実施不可能な場合は、原則、順延とします。

また、木曜日に予定していますリハーサルの公開ですが、天候による中止等も考えられます。朝が雨でも、雨の止み間に行える場合はリハーサルを行います。リハーサル実施の可否を事前にお知らせすることは難しいので、ご了承ください。学校への電話によるお問い合わせもご遠慮ください。

各学年からのお知らせもあると思いますが、今年度の表現種目は、演技の正面の向きを本部テントと反対側にします。正面を本部側にすると、テント等が邪魔になり、保護者のみなさんから演技が見にくいので、校庭側からご覧いただけるようにしました。詳しくは、各学年からのお知らせをご覧ください。

朝の放送が流れる ようになりませんでした



昨年度は、様々なことが縮小され、放送委員会による朝の放送もやっていませんでした。

5月の委員会活動の時間が過ぎたある日の朝、さわやかな音楽が流れていることに気が付きました。アナウンスもとても明るくさわやかでした。放送室に行って、放送委員にどんなことに気がついて放送しているのか聞いてみたら、「朝、みんなの気持ちを明るくするように明るい声にしています。」とのことでした。



福栄小学校の朝を、子どもたちの元気なあいさつとさわやかな放送が彩ってくれています。

水泳学習の中止 について

先日、学校からの文書でお知らせしましたが、残念ながら、今年度の水泳学習も中止となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大を考慮し、市川市教育委員会が決定したものです。マスクをはずしての活動になる水泳学習は、感染のリスクが

高く、常に人と人の間に2m以上の間をあけるのが困難であることからの判断です。

ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。



田植えをしました

5年生が地域の方に教えていただきながら、福池近くの小さな田んぼに田植えをしました。秋には、たくさんのお米が収穫できることを祈っています。



あいさつボランティア

1階の中央階段横で、あいさつボランティアをしてくれている6年生に、感想を聞いてみました。

- 低学年の子たちがあいさつしている人の前に止まって、大きな声で目を見てあいさつをしてくれて、私はほっぺたが温かくなったような気がした。
- 元気にあいさつしてもらおうと「この子は、一日元気でいられそうだ。」と思い安心する。礼をするだけの人だったら、「不機嫌そうだから、元気で一日を過ごせるかなあ。」と少し心配になる。

全校にあいさつが広まるといいですね。